

(新規提案)

NO. 3	技術開発 提案名	太陽熱を利用するハイブリッド給湯・浴室乾燥システムの技術開発		
事業者	株式会社FHアライアンス アイ・ホーム株式会社	松栄建設株式会社 株式会社カワムラ	九州大学 湘南工科大学	
技術開発 経費の総額 (予定)	約 166.6 百万円	技術高度化 の期間	平成28年度～30年度	
<p>■ 住宅等における環境対策や健康向上に資する技術開発</p> <p>住宅等におけるストック活用、長寿命化対策に資する技術開発</p> <p>住宅等における防災性向上や安全対策に資する技術開発</p>				
背景・目的	全館空調（MaHA tシステム）で比較的空調が不十分だった浴室に対し、給湯と浴室乾燥を太陽熱利用で解決する。			
<p>■ 技術開発の概要</p> <p>本システムの概要を右図1, 2に示す。本システムは、個別送風ファンにより各居室に温冷風を供給するダクト式全館空調システム（MaHA tシステム）に、太陽熱を利用するハイブリッド給湯・浴室乾燥システムを付加したものである。</p> <p>右図に示すように屋内空間は、DCモーターファンにより、高効率エアコンで冷暖房した空気を各居室に搬送して空調行う。給湯は太陽熱パネルで集熱し、貯湯タンクに蓄えた温水により行い、余剰熱を浴室の暖房・乾燥、および衣類乾燥に利用する。</p> <p>近年の生活スタイルの変化から、浴室での乾燥のニーズが高まり、その使用時間も長くなってきている。</p> <p>MaHA tシステムによる空調の省エネ化のみならず、給湯および浴室の暖房・乾燥についても再生可能エネルギー（太陽熱）を活用することで、更なる省エネを図ることが可能となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="865 823 1453 1293"> <p>図1 システム全体</p> </div> <div data-bbox="840 1317 1470 1728"> <p>図2 本システム概要</p> </div> </div>				
総評	<p>太陽熱給湯システムにおいて、太陽熱を給湯のみならず浴室乾燥にも利用する技術開発であり、太陽熱が余りがちな夏期・中間期における太陽熱の利用率向上や洗濯物乾燥の浴室利用の新しいニーズとともに、太陽熱利用技術の普及に役立つと期待される。</p> <p>太陽熱給湯システムの効率向上は、喫緊の課題であることから、確実な成果と迅速な市場化を期待する。</p>			